

ひだか 議会だより

HIDAKA GIKAI DAYORI

第 141 号
平成 23 年 1 月 31 日



36年ぶりに復活した花とりおどり

行政報告	2~3P
審議したこと・決まったこと	4~5P
議員提出議案・陳情・請願	5~6P
臨時議会	7P
委員会活動	8~9P
一般質問に4氏が立つ	10~13P
議会日誌	14P

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

仁淀川地域観光

協議会発足

10月8日流域6市町村と2つの観光協会や関係団体と連携しながら、コーディネート組織としての役割を發揮し、地域の観光資源を活用した交流人口の拡大等、流域観光の振興と地域の活性化に貢献することを目的にしている。

清流仁淀川食と

花火と音の祭典開催

11月27日に仁淀川広域花火大会実行委員会が主催し、仁淀川広域事務組合の



音の祭典

共催により、八天大橋下流で開催、管内の市町村が共同で仁淀川を活用した取り組みができないか、また、今後の観光施策へ向けての起爆剤的な事業とならないか等を検討した結果、夏とは違った趣もあり開催地では好評であった。寒い中でしたが大変にぎわった取り組みであり関係各位に感謝申し上げます。

村内の秋祭りやイベントについて

10月15日、長崎の八幡様の太刀踊り、11月7日、竜石神社のおなばれや子どもこし、11月14日、能津四社神社の神踊り、11月15日、小村神社のおなばれや浦安の舞、秋祭り実行委員会による、小学生の劇「隠し田」や太鼓等の演奏が行われ、10月17日、妹背、宇佐八幡宮の花取り踊りの復活のお披露目が行われた。地元有志によって「花とりおどり保存会」が結成され、「昔に踊ったことのある人がいる今しか復活はできない」との思いから、多くの方々から、多くの方々が会へ参加をして、36年ぶりの復活につながったと聞いている。

今後継続していくことが大事であるので、村



小村神社秋祭り

としてもできる支援はしていきたいと考えている。
10月31日、昨年リニューアルした村民運動会が、総合型地域スポーツクラブ啓発フォーラムと同時に開催された。

第3回

茂平マラソン

11月28日、県内外より1,160人の参加者を得て盛大に開催され、昨年と同様に応援や一般の方々が気軽に参加し楽しめるように、ウォーキングの部や当日受付のコースの開設、車椅子体験、わくわくキッズ運動BOX、食欲の秋トマトまつりなどのイベントも行われ、日高村の秋の自然や人情、味を堪能していただけたことと思うし、開催にあたり多くの企業の方々による協賛、ボランティアの皆様による運営、沿道での村民の方々の応援によつて盛大に開催され、各地の大会に出られている参加者からの声も好評で、今後も、より多くの参加が得られる人気のある大会にしていきたい。





茂平マラソン



観光モニターツアー

日高村観光 モニター調査実施

10月18日、体験型観光のプラン作成やボランティアガイドを養成していくために、村の資源を観光資源として活用するためには、何が必要で何をしなければならぬかを、プロの目で見ていただいた。対象者は高知県内及び高松市のマスコミや情報誌、旅行者業者など19人の参加があった。



光ケーブル敷設工事

光ケーブル網等 構築事業説明会

8月23日から開催していた村内23カ所25回の説明会が終了した。

ケーブルの敷設工事、申込者への告知端末の設置と併せ、自治会長のご協力と得ながら、住民の安全安心社会の実現に向け、全戸への設置に向け取り組んでいきたい。

栄えある受賞

11月3日、県功労賞の地方自治功労に関する分野で、西森和氏が表彰された。

西森氏は、12月5日に開催された村表彰でも、村議会議員として長い間、村の発展に貢献されたことにより功労表彰を贈らせていただいた。

沖名石田で操業されている、紙の風船で有名なヘイワ原紙の山岡睦宏氏が発明考案の分野で県功労者に選ばれた。

第1回スポーツひのまるキッズ四国大会で、日下小学校の笠原勇馬君が1年生の部で、笠原海心君が小学校3年生の部でそれぞれ優勝された。



審議したこと

平成22年第4回定例会

決まったこと

H22.12.6~12.10

12月議会では予算関係5件、人事案件1件、その他1件、議員提出議案4件、請願・陳情5件の計16議案が決まった。

人事

◎人権擁護委員に岡川絹江氏の推薦につき意見を求めることについて適任とした。



岡川絹江人権擁護委員

予算

(△印は減額)

◎平成22年度日高村一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出それぞれ1千691万円を追加した。
主な歳入
分担金△92万円、負担金△665万円、国庫負担金△482

万円、国庫補助金△336万円、県負担金116万円、県補助金1千515万円、土木補助金252万円、雑入920万円。
主な歳出

総務管理費929万円、社会福祉費1千99万円、児童福祉費1千803万円、保健衛生費228万円、農業費1千393万円、商工費284万円、河川費72万円、消防費80万円、教育総務費△359万円。

質疑

問 保育所入所者による運営費の減とあるが、当初の予定とその減員した人数がどれくらいになっているか。

答 日下保育園120人の定員に対し、0歳が8人、1歳が22人、2歳が23人、3歳が15人、4歳が26人、5歳が16人の110人と見込んでいたが、日下保育園で0歳児が当初より2人の減、1・2歳が9人減、4・5歳が3人の減で合計14人の減。途中入所6人。加茂保育園については、0歳が4人、1歳が7人、2歳が4人、3歳児が5人、4歳が10人、5歳児

が5人の計35人予定していたが、0歳が2人の減、1・2歳が3人の減合計5人の減となっている。海津見については、0歳1人、1・2歳が3人、3歳が2人、4・5歳が3人、計9人を予定していたが、増員が1・2歳に4人、4・5歳に1人ということで5人の増員になっている。

問 地域支援ふるさと雇用再生特別基金事業の内容

答 わのわ会は6人の雇用を見込んでおり、商品開発したものを県外で営業活動や販売をしていく事業、また農産物直売所のさんさん市活性化で雇用を1人置き、農業の振興とさんさん市の活性化を推進していく。商工振興費では、猫砂を作り全国に販売していく事業である。



海津見保育園

◎平成22年度日高村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ3万円を追加した。

主な歳入

一般会計繰入金3万円。

主な歳出

総務管理費3万円。

◎平成22年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ220万円を追加した。

主な歳入

基金繰入金220万円。

主な歳出

総務管理費219万円他。

◎平成22年度日高村介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ12万円を追加した。

主な歳入

一般会計繰入金8万円他。

主な歳出

介護予防事業費△2万円他。

◎平成22年度日高村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ92万円を追加した。

主な歳入

一般会計繰入金92万円。

主な歳出

総務管理費41万円、後期高齢者医療広域連合納付金51万円。

その他

◎能津小学校校舎・屋内運動場耐震補強及び大規模改造工事の請負契約の変更に
ついて

契約金額(変更前) 9千555万円、(変更後) 1億216万円。

問 補正を組まざるを得なかった理由は、

答 学校側から新たな部分が必要として挙がってきたので、今回耐震と合わせて改造が最後になるので、できるだけ学校の要望に沿いたいという考えで計上した。

問 660万円の増額は、村内

業者に頼めるなら頼み、経済の活性化を図るようにはしないと、また村民に分かりやすいような契約にしていくべきでは。

答 軽微な変更という取り扱いで、進めさせていただき、今回変更という形で上げたものである。

問 能津小学校のトイレ水洗化式とあるが、他には水洗化されていないトイレはないのか。

答 今回ですべて水洗化が終了する。



能津小学校屋内運動場

平成22年度12月議会

議員提出議案

◎トンネルじん肺根絶に向けた抜本的な対策を求める意見書

トンネルじん肺は、その多くが公共工事において発症することも十分に踏まえ、根絶に向けた抜本的な解決が早急に図られなければならない。

よって政府においては、合意書に基づきトンネルじん肺根絶のための対策を行うとともに、建設業者の関係者の理解を進めることなどにより、トンネル建設労働者の就労と検診を二元的に管理し、じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設を速やかに取り組まれるよう強く要望する。

提出議員 野村重夫、尾崎、矢野、戸梶、岡本

賛成多数 可決

◎保育制度改革に関する意見書

現在検討されている国の制度改革の方向は、国の責任を市町村に委ねるだけでなく、児童福祉法24条に基づく市町村の保育実施責任を大幅に後退させるもので、保育の地域格差が広がるだけでなく、家庭の経済状況により子どもが受ける保育のレベルにも格差が生じることになりかねない。

あわせてそれぞれ成り立ちも運営形態も異なる幼稚園と保育所を一体化することに対して拙速な結論を出すことは、社会に大きな混乱を引き起こすものである。

よって国及び国会におかれましては、子どもの権利を最優先に、地方自治体の実情を踏まえたうえで、国と地方自治体の責任のもとに保育制度の拡充を図られるよう、次の事項について強く要望する。

1. 保育所・幼稚園・学童保育及び子育て支援関連予算を大幅に増やし、子育てに関わる経済的負担の軽減を図ること。
 2. 児童福祉施設最低基準を引き上げ、抜本的に改善すること。
 3. 保育に格差が生じる直接契約・直接補助方式は導入しないこと。
 4. 幼保二元化については拙速な結論は避け、慎重に検討すること。
- 提出議員** 野村重夫、尾崎、矢野、戸梶、岡本
全員賛成 可決

- 見書**
- ◎TPP交渉に反対する意見書
- 内容**
- TPP等をはじめとする自由化交渉は、農産物関税の撤廃だけの問題ではなく、人の移動やサービス分野等、あらゆる分野で「国を開く」ことを目的としている。これは、わが国の将来像に関わることであり、国民の十分な理解と共感の下に進められなければならない。ついでには、国土と産業の均衡ある発展のため、次の事項が実現されるよう要望する。
1. 例外なき関税撤廃を原則とするTPP交渉には参加しないこと。
 2. 各国・地域とのFTA・EPA交渉においては、食料自給率が極端に低い現状や、将来の食料需要に関する国民の懸念、国土の保全等に十分配慮し、農林水産物の例外品目の確保、十分な国内対策等、国内の関係品目に影響が生じないように対応すること。
- 提出議員** 戸梶昭澄、岡本、矢野、尾崎、野村
全員賛成 可決
- ◎米価大暴落に歯止めをかけるための意見書
- 内容**
- 農林水産省は、米戸別所得補償モデル事業によって米の需給は均衡し米価は安定するとしてきましたが、相対価格は下落を続け、22年度の9月の相対価格は前年度を14%、2,000円も下回る事態に至っています。



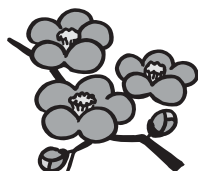
TPP反対集会

この数年来、生産費を大幅に下回る米価が続いている中で、生産者の努力は限界を超えており、かつて経験したことのない米価の下落が日本農業の大黒柱である稲作存続の土台を破壊し、それはまた国民への主食の安定供給を困難にし、政府が進める米戸別所得補償モデル事業さえも台なしにするものと考えます。

私たちは、米の需要を引き締めて価格を安定・回復させるためには、政府が年

**決まったこと
陳情・請願**

- 産にかかわらず、過剰米を40万トン程度、緊急に買い入れることが最も効果的であると考えます。
- 米価下落対策として、直ちに40万トン程度の買い入れを行うことを求めます。
- 提出議員** 矢野孝明、岡本、戸梶、野村、尾崎
全員賛成 可決
- ◎トネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書の提出について陳情
- 提出者** トネルじん肺根絶訴訟高知原告団
代表 小笠原和俊
全員賛成 採択
- ◎保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情書
- 提出者** 保育の公的保障を求める大運動高知県実行委員会
代表者 田中きよむ
全員賛成 採択
- ◎TPP交渉に反対する意見書の採択について
- 提出者** コスモス農業協同組合
代表理事組合長 伊藤喜男
賛成多数 採択
- ◎米価大暴落に歯止めをかけるための陳情
- 提出者** 高知県農民組合
代表者 西森貞男
全員賛成 採択
- ◎TPPの参加に反対する陳情
- 提出者** 高知県農民組合
代表者 西森貞男
全員賛成 採択



第3回 臨時会

10月27日第3回臨時議会
が開催され議案2件を審議
した。

◎日高村立日高中学校校舎
建築工事の請負契約の締結
について

契約額 7億980万円
契約業者 ミタニ・シカタ特
定建設工事共同企業体

問 体育館施設等は、金額
だけでは、全然比較にな
らない事例等があり、そ
ういう場合は機種選定理
由書というものが付され
るわけで、それなりの納
得できるものでないと認め
られないわけですが、この
場合、機種選定理由書は
示されているのか。

答 備品の選定にあたって
は、特別教室での授業を
担当する先生方も加わり
機能面や教室のレイアウ
トなど、学校側と設計業
者で綿密に打ち合わせを

行って決定した経緯がある
が、規格に合う物、同等
品の使用を妨げるもので
はない。

問 県は5千万円以上は全
部、一般競争入札でやって
いるが、しなかった理由は
なにか。

答 一般競争入札というのが
本来かもしれないませんが
共事業が低迷している今
日、村内の事業者に加え、
県内のAランクの業者との
共同企業体による指名競

争入札の方法が日高村に
おいては適当であるとの判
断により行った。

◎平成22年度日高村一般会
計補正予算(第4号)

歳入歳出にそれぞれ719万
円を追加した。

主な歳入

分担金及び負担金60万
円、国庫支出金390万円、諸
収入149万円、村債120万円。
主な歳出
災害復旧費719万円。



建築中の日高中

第4回 臨時会

11月24日第4回臨時議会
が開催され議案2件を審議
した。

◎一般職の職員給与に関す
る条例の一部を改正する条例
平成22年8月の人事院勧
告の趣旨に沿って、一般職の
職員の給料表並びに期末手
当及び勤勉手当について改
正。

この条例は、公布の日の属
する月の翌月の初日から施
行する。

質疑

問 日高村の現状を考えた
ら民間を上げて、合わし
たらよいが、下げるとい
うのは間違いでは。

答 民間に準拠しながら公
務員の給与は設定されて
おり、民間が上がると、
公務員も上がるし、民間
が下がれば、公務員もそ
れにならって下がるという

ような位置づけになってい
る。

問 日高村でどれだけの削
減が図れるか。

答 職員が約470万円、議員
が約33万円で合わせて503
万円ぐらゐの減額となる。

問 労働者の購買力を高め
ないことにはこの景気は立
ち直れない。そういう点
では人勧の流れを追随し
ているだけであり、今一度、
職員の給与の問題、議員
の歳費の問題を見直す場
が必要でないか。

答 経済の活性化については
購買力を高めていくとい
うことが非常に大事なこ
とだと思うが、全国的な
形の中で、給与水準を保
ちながらいきたいとの考え
方で提案した。

◎日高村議会の議員に対す
る期末手当の支給に関する
条例の一部を改正する条例
日高村議会の議員に対す
る期末手当の支給に関する
条例の一部を改正。

この条例は、公布の日の属
する月の初日から施行する。

閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 森下雅文

11月24日

委員長より諸般の報告を行った。

能津地区・日下小学校運動会へ参加の件、表彰審査会の経過、補助金審査会の結果を報告した。

○各課からの報告を受けた。

教育委員会

来年度に向けた組織整備の件。能津小学校大規模改造工事の変更について。村立図書館への寄付と母校に本を贈る運動による学校図書費の件。茂平マラソンについて。

住民課

住民税申告支援システムの導入に関する件。一般被保険者保険税還付金について。

総務課

諸般の報告と議会への提案に関する報告。光ケーブル



茂平マラソン

ル・IP端末の件。清流仁淀川食と花火と音の祭典について。

○村有財産の払い下げについて審査した。

沖名字大平の山林991㎡を1㎡当たり25円で払い下げることにした。

○継続となっている陳情書第5号を審査した。人権侵害救済法の成立に反対する意見書に関する陳情を継続して審査することにした。

経済建設厚生

常任委員会



委員長 尾崎政廣

11月24日

健康福祉課より

福祉館の今後の改修計画について、国の地方改善施設整備事業及び、高知県隣保館支援事業を活用し、平成23年度に実施計画、24年度には改修工事を実施したいと考えている。

次に、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、3ワクチンの接種事業を1月から実施する予定。

続いて、人権擁護委員の任期満了に伴い、次期候補者の選出について、また、平成23年4月より子育て支援センター及び保育事務を教育委員会へ移管する予定の報告があった。

建設課より

柱谷南線の橋梁工事が完成をし、引き続きその延長を発注しており、来年3月中期の完成を目指している。

また、補正予算について説明を受けた。

産業環境課より

9月定例会以降の主な行事として、観光モニター、地産地消B級グルメの参加、食のコーディネート、粗大ごみの収集、認定農業者大会などの報告を受けた。



柱谷南線

振興対策特別委員会



委員 長 壬生豊秀

11月5日
県道庄田伊野線の下名越屋から江尻間の改良の件について、建設課長から村独自



県道改良予定地

の現地調査を行った結果新たに7カ所の改良を県の提案に追加して、14カ所の改良案を県に提示したいとの報告を受け協議した。
1.5車線の改良が目的であり、全体の8割の部分に手をつけることになる。
一定の要望を満たした計画案であり、早急に県に提示し、委員会で答弁を求める。
また、振興策の中の改良事業であり、村内業者が参入できるように、県と話し合いますと執行部に申し入れた。

公害対策特別委員会



委員 長 森下芳文

11月25日9時より
日下川の汚濁についての、追跡調査という事で、父原川の実情を現地視察し、それから渋谷の工場の様子も視察した。
父原川については、近來な



改善されている父原川

い、いわゆるヌルヌルした状態がほとんど見られないという状況に改善された。
それについてはやはり中央西福祉保健所と村との共同での指導で、デンプンを除去する努力の跡が見られた。
遅きに失したという感もぬぐえんが、改善の余地が見られ、努力が見られておる点は評価したい。なお芋のクズを、今まで見たことがなかったですが、現地は、ベルトコンベアで上げて、下でダンプで受けている。
芋の粉等が散らかってる状況があります。今年は幸い雨が少なかったため、そういうものが流されるという状

況は生じなかったと思うが、それについても穀が流されなような努力を要請したところだ。

野村重夫議員 自治功勞 表彰を受賞

平成22年10月14日四国地区町村議会議長会より表彰されました。

これは議会議員として20年以上在職し、地方自治に功績のあったものに贈られるものです。

心よりお祝いを申し上げますとともに、益々のご活躍を期待いたします。



一般質問に4氏が立つ



西川龍子議員

命を守る3ワクチン接種が実現

質問 国・県の補助事業として2カ月～4歳までの乳幼児を対象とするヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンが公費無料接種として実施となるが、手順を問う。

答弁 川村健康福祉課長

詳細は、まだ決まっていないが、高知県では全市町村が実施となっており、日高村では1月から実施予定としている。申請書の提出をすれば、立て替えの負担もなく接種できる。

接種年齢により回数や間隔が異なる。ヒブワクチン

生後2カ月～6カ月の乳児は4回の接種が必要で、1回目の接種後3～8週間隔で2回目、2回目の接種後3～8週間隔で3回目、3回目の接種後より1年後に4回目の接種を行う。生後7カ月～1歳未満は3回の接種となり、1

回目の接種後、3～8週間隔で2回目を行い、2回目より1年後に3回目を接種する。1歳～4歳は1回のみ接種となる。

小児用肺炎球菌ワクチン

生後2カ月～6カ月は4回の接種が必要で、1回目の接種から4週以上の間隔で2回目、2回目接種後4週以上の間隔で3回目を行い、生後12カ月～15カ月に4回目を接種。

生後7カ月～1歳未満は3回の接種となり、1回目から4週以上の間隔で2回目、そして60日以上の間隔で3回目を接種。

満1歳は2回の接種が必要で1回目から60日以上の間隔で2回目を接種。

2歳～4歳は1回のみ接種となる。

質問 国、県の補助事業として、中1～高1までの女子対象に市町村へ補助が決定されている。高知県では独自の事業として、高2、高3の女子を

対象に、国の事業に乗せして、子宮頸がんワクチンが実施となったが、高校3年生の県外への進学や就職時の費用負担のない接種を要望するが。

答弁 川村健康福祉課長

日高村では、中学1年～高校3年の女子126人を対象に1月から実施する。このワクチンも立て替え等の自己負担もなく高知県では全市町村が実施する。

子宮頸がんワクチンは3回の接種が必要で1回目から1カ月後に2回目を、1回目6カ月後に3回目の接種となる。3回目の接種が6カ月後となるため、転出者については、希望する県外の医療機関との委託契約も必要と考えている。

質問 この3ワクチンは2年間の実施事業であり、この2年間だけでは命は守れない。継続が必要と思うが。

答弁 川村健康福祉課長

国の事業は2年間となっているが、実施する方向で検討する。

質問 任意接種のため、周

知が重要と思うが。

答弁 川村健康福祉課長

事業内容の詳細が決定次第、教育長と相談しながら学校での授業の中での説明、対象者の保護者への個別通知、日高広報への掲載等十分な事業説明を実施する。



日高クリニック



森下芳文議員

宇佐八幡宮花取り踊りの完全復活に支援を

質問 宇佐八幡宮の花取り踊りは、36年ぶりに復活したが、完全復活には時間を要すると思うが、どのように支援を考えているか。

答弁 戸梶村長

村として、例えば衣裳を揃えたいということであれば総合補助金なりを活用してもらえばと思う。

質問 光ケーブル網は地震災害には、機能するか？

停電時のバックアップシステムは、避難場所等の主要個所のみということ、日高村のような軟弱地盤地域では、液状化による電柱の倒れや傾きが予想され、そのような事態には送電が止まることが考えられるが、機能が半減するのでは。

答弁 片岡総務課長

有線としての弱点はあるが、どのタイミングで避難勧告等を行うかは課題である。

仮に停電になる前の避難勧告では、避難したかどうかの確認ができる機能もある。

質問 個人でのバックアップシステムの設置は可能か、希望調査は。

か、希望調査は。

答弁 片岡総務課長
全体的な調査は考えていない。安いもので個人での設置は可能、2万円ほどかかります。

県が、事前調査の不十分な事実を認めない限り進展しない

質問 公共工事に伴う損失補償交渉が進展しない原因は。

答弁 杉本建設課長

県の示した基準の補償内容と、地権者の思いに大きな隔たりがあり平行線をたどっている。

質問 補償基準と地権者の思いに違いがあるとのことだが、行政相談にも相談して、仕様書並びに成果品を吟味した結果、これでは正確な補償額は算出されない。なぜなら、事前調査がずさんで、事後との比較ができない。地権者の単なる思い込みではない。

答弁 杉本建設課長

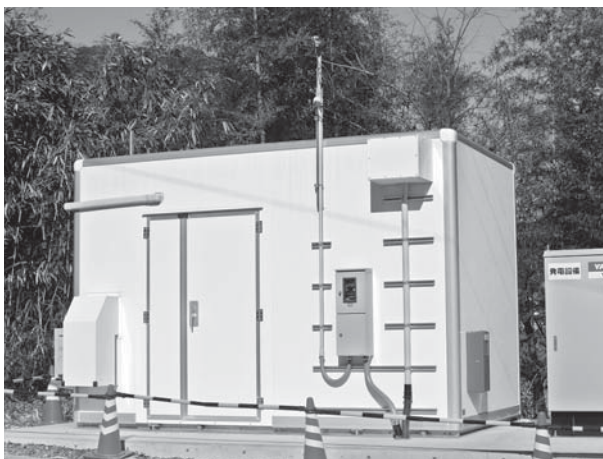
公共工事の損失補償は、基準がないと補償できない。

質問 十分な調査をせずに基準基準といっても、地権者は納得できない。事前調査の不十分さを認めて対応しない限り道は開けない。

公共工事によって自分の財産が傷付けられ、家に住めなくなった村民のことを考えたことはあるか。

答弁 戸梶村長

村民の本当の声を代弁されたと思う。全くその歩み寄りがない状況の中で、本会議場でなんぼ言われてもこれ以上の答弁はできません。



バックアップシステム

NPO法人への 疑義解けず

質問 監査そのものがない加減な監査ではなかったか？記入間違いについては、県に説明に行くとのことだが、どう記入訂正したか報告がない。

答弁 川村健康福祉課長

行政としては、村が指導できるのは村の委託事業に係る分であり、それ以外の法人全体の決算のことや、会員さんの法人に対する意見については行政指導としてできない。

地域破壊の環太平洋 連携協定(TPP)



野村重夫議員

食も雇用も環境も ピンチ TPP

質問 例外なしに関税をゼロにする環太平洋連携協定(TPP)に参加するかどうか。菅政権は平成23年6月にも決定しようとしている。
農水省は、TPPに日本が参加すれば、今でも40%しかない食料自給率が13%に落ち込むと試算している。
農業・食の問題だけでなく、350万人以上の雇用が失われ、環境など農業がもつ多面的な機能が損

なわれると心配されている。

恩恵を受けるのは、輸出先の関税をゼロにすることによって、外国との儲け競争に勝ちたい自動車、電機メーカーだけだ。

JA高知中央会、高知県森林組合連合会も反対の表明している。また副知事も「県として加盟には反対だ」と言っている。村長の考えを問う。

質問 戸梶村長

農水産物だけでなく、その他のものも関税をなくして自由にするということなので、今の日高の状況、高知県の状況を考えると、唐突にTPPに参加することは、賛成しかねると考えている。
質問 TPPに参加すると、日高村の農業はどうなる。

回答 中村産業環境課長
農林水産省の試算で

は、国内農業生産の減少が、4兆1千億円と言われており、そのうちコメが1兆9千700億円になっている。コメであれば90%の減少です。
高知県ではコメが139億円減少といわれており、水稲中心の日高村の稲作面積は、90%以上減になるのではないかと。

質問 農林水産大臣の国会答弁では、農業の多面的機能は3兆7千億円程度喪失する。農林水産省は関連企業への影響を、国内総生産で8兆4千億円程度減少、そして350万人程度が就職の機会の減少という試算をしている。雇用対策の課長はどう考えるか。

回答 中村産業環境課長

農業が盛んになって、農業に関する雇用が生まれるということなので施策を進めてきた。
TPPに参加した中で、関税が外されて自由になるといふことに、危機感を持つている。農業に従事しても生活ができない。農業にとつて雇用が生まれない実態がある。

質問 農林水産省の多面的機能の貨幣評価について聞く。年間89兆円という国家予算に匹敵するような貨幣評価がある。TPPに参加すればこれをつぶすことになるがどうか。

回答 中村産業環境課長

農林水産省の試算の中にそういう資料がでていない。

質問 私たちは、日高村の農家戸数について調査をしている。

日下地区・加茂地区・能津地区と分けて調査をして2015年までの農家戸数を予想しているが、村は2010年までをどのようにつかんでいるか。

回答 中村産業環境課長

2005年と比べて販売農家で40戸減少している。

質問 TPPに参加したら、日高村の販売農家は0になると思うが、農業を守る村長の決意を聞く。

回答 戸梶村長
全国町村会でも

反対決議を上げている。非常に危機的な状況になる。日本を挙げて、高知県を挙げて、取り組みに参加していきたい。

その他の質問

- 介護保険制度
- 雇用問題(失業率)



ペットボトルの水・コメ(どちらの単価が高い?)



森下雅文議員

国勢調査について

質問 人口減による村政への影響は。

答弁 川村健康福祉課長

財政への影響は、予測で交付税が1億円の減。社会保障制度や経済にも影響する。

答弁 戸梶村長

来年度に向けてこれだけの減額を含めた財政計画を立てたい。

て 寄付金条例について

質問 住民から施策を公募して、選んだ上で寄付を募る寄付条例を考えてはどうか。

答弁 片岡総務課長

非常に良いことと思うので、研究させていただきたい。

善を 臨時職員の処遇改

質問 長期間雇用している臨時職員の処遇について考慮すべきでは。

答弁 戸梶村長

有給休暇について検討しているが、賃金については慎重に検討したい。

職員 職員の定年制について

質問 団塊の世代の職員の退職が続くが、ベテラン職員の能力や人脈を手放すのも惜しい。特例要綱を活用してはどうか。

答弁 戸梶村長

財政状況等、総合的な判断の中で検討もさせていただきたい。

て 能津高架橋について

質問 利便性や架橋の意義、建設費の問題を適地調査と併せて検討することだが、地元への説明は。

答弁 戸梶村長

県との河川協議に向けての調査中であり、一定の方向性が出た段階で、と考えている。

婚活支援について

質問 結婚コーディネーターを公募して、相談や紹介活動を行うようにしてはどうか。

答弁 戸梶村長

若者流入の一つの方法と考えるので検討させていた

その他の質問

- 日下交差点事業の進捗状況について
- 妹背入りの信号について
- ふるさと納税について
- 日高酒蔵会によるイベントについて

○ 職員の資質・能力の向上策について

○ 少子高齢化への取り組みについて

○ 一次産業の振興策

○ 村内商工業の活性化策

○ 建設業の現状と課題

○ 新たな住宅地の誘致について

○ 村の各種イベントについて

○ 要望活動の課題と経過・成果について



婚活風景

